ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1(NO.17,R13.0)	調査位置				北　緯	36 ° 19 ' 02.0000 "
発 注 機 関	栃木県佐野土木事務所			調査期間	2009-06-04 ～ 2009-06-06	東　経	139 ° 37 ' 00.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	29.65 m	角度	180° 上 下 90° 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	6.00 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	29.05	0.60	0.60		埋土 (Fl)	暗褐			上部0.25mは砂混りシルト主体 0.25mより礫混り粘土主体となる 礫はφ2～70mm程度の角礫が主体である		06/04 0.37
1 2	26.75	2.30	2.90		粘土混じり礫 (G-C)	暗褐灰	中ぐらい		φ2～80mmの角礫が主体である 礫間は粗～中砂混りの粘土で充填される コア長5～7cmの頁岩やチャートの玉石を点在する 2.60～2.90mは頁岩の強風化部		
3 4 5 6	23.65	3.10	6.00		チャート・頁岩互層 (Cht/Sh)	灰～暗灰			チャートが優勢の頁岩との互層である 岩質は硬質である 2.9～4.5m亀裂が多くコアは5～18cmの短柱状で採取される 4.5m付近は亀裂面に薄く粘土を挟む 4.0～4.5m間から毎分500ccの湧水あり 4.5m以深はコア長10～20cmで採取される		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	8	11	9	28／30	28
1.45					
2.15	4	10	12	26／30	26
2.45	50／2			50／2	>50
3.00					
3.02	50／0			50／0	>50
4.00					
4.00					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日
06/04
06/05
06/06